

平成30年度 自己評価結果公表シート

H31. 4. 1.

幼保連携型認定こども園
泉佐野すえひろ保育園

1. 本園の教育・保育理念・目標
<p>理念</p> <ul style="list-style-type: none">・互いの命の尊厳を尊重し、互いを思いやる心を持つ・すべての人に生きる夢と勇気と希望を提供する・常に感謝の心を持つ
<p>目標</p> <ul style="list-style-type: none">・心身ともに健康な子ども・友達を大切に、元気に遊ぶ子ども・思いやりを持った情緒豊かな子ども・のびのびと自己を表現する素直な子ども
2. 評価項目
<ul style="list-style-type: none">①保育内容の計画、実践、振り返りを行い保育の質を高める。②子どもの健康支援や食育の推進に取り組む。③職員の資質・専門性の向上を図る。④保護者・家庭及び地域と連携した子育て支援に取り組む。
3. 評価項目の達成及び取り組み状況(自己評価)
<ul style="list-style-type: none">①各クラスPDCAを行い、職員同士で声掛けをしながらよりよい保育を目指し、取り組んだ。②一人ひとりの健康状態をチェックし、食材や調理方法に気を配り食に対する啓発を行った。合わせて、おやつの手作りにも力を入れた。③研修機会を増やし、各々の向上にむけ体制を整えた。④地域の会議に積極的に参加し、地域との交流をはかった。
4. 本年度、重点的に取り組む目標・計画
<ul style="list-style-type: none">①子ども一人ひとりに合った保育が行えるよう、各クラス単位の目標設定を行う。②職員同士のコミュニケーションを密にし、保育環境を整える。③職員の資質・専門性の向上を図る。④保護者・家庭及び地域と連携した子育て支援に取り組む。

平成30年度 自己評価結果公表シート

幼保連携型認定こども園
こだまこども園

31.3.31

1. 本園の教育・保育目標

保育教育理念

- ・入園児童及び地域の子どもの健全な人間関係を図る為、児童福祉の理念に基づき、一人ひとりの最善の利益を尊重し、福祉の増進を図る。
- ・一人ひとりの子どもの尊厳を大切にするために、すべての大人が正しい観念を持ち、子どもや子育て家庭への理解と支援を積極的に行っていく。
- ・児童福祉を積極的に進めるために職員は、利用者(子ども、保護者)の立場を尊重し、利用者一人ひとりのニーズに応じてきめ細やかな保育を提供していく。

保育教育目標

- ・よく遊びよく食べよく眠る健康な子ども(生きる力)
- ・何事にも興味を持ち意欲的に遊び、自分の思いを表現する子ども(心ひらく力)
- ・友達と一緒に遊び、共に協力して活動できる子ども(共に育つ力)

2. 評価項目

- ① 園の様子、取り組み内容等をより知ってもらうための見える化を推進する。
- ② 園内の組織作りの強化(災害等にも迅速に対応)
- ③ 個々の経験年数に合わせたキャリアアップ研修の参加と全体を対象にした研修への積極的な参加

3. 評価項目の達成及び取り組み状況(自己評価)

- ① 在園のご家庭に対してはホームページやよい子ネット等の情報発信の回数を増やし、わかりやすく情報発信できたのだが、地域に対しては情報発信があまりできていない状況であった。
- ② 園内での職員間の連携等、一定の強化に至っているが、さらに連携が強化になるよう進めて行く必要がある。
- ③ キャリアアップ研修については、計画的に研修に参加できている。しかし、全体を対象とした研修については、参加はできているが、共通認識を図るうえで、園内研修を充実させていく必要がある。
- ④ 保育カリキュラムの中でPTCAサイクルを利用して丁寧に進められてはいるが、今まで取り組んだことのないカリキュラムや保育を取り入れていく必要がある。また、近年の気温上昇に伴って特に5月後半から10月までの保育カリキュラムについては、一定の見直しが必要と考える。

4. 来年度、重点的に取り組む目標・計画

- ① 地域に対しての情報発信の強化
- ② いかなる状況にも対応できる強い組織作り(災害等にも迅速に対応できる等)
- ③ 全体を対象とした研修内容を全職員がしっかりと共有する。
- ④ 保育カリキュラムの検討、見直し。